



ほうじょう りえこ  
**北條 理恵子**さん  
 産業安全行動分析学  
 研究室 准教授  
 国立大学法人 長岡技術  
 科学大学  
 技学研究院 システム安全  
 系 システム安全工学専攻

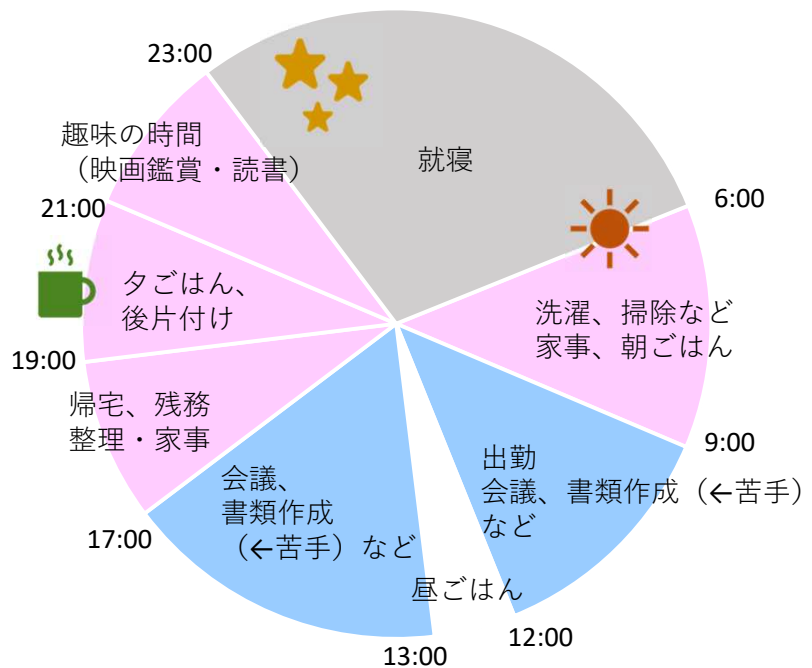
# 人生において損になる努力

## はないと思うのです

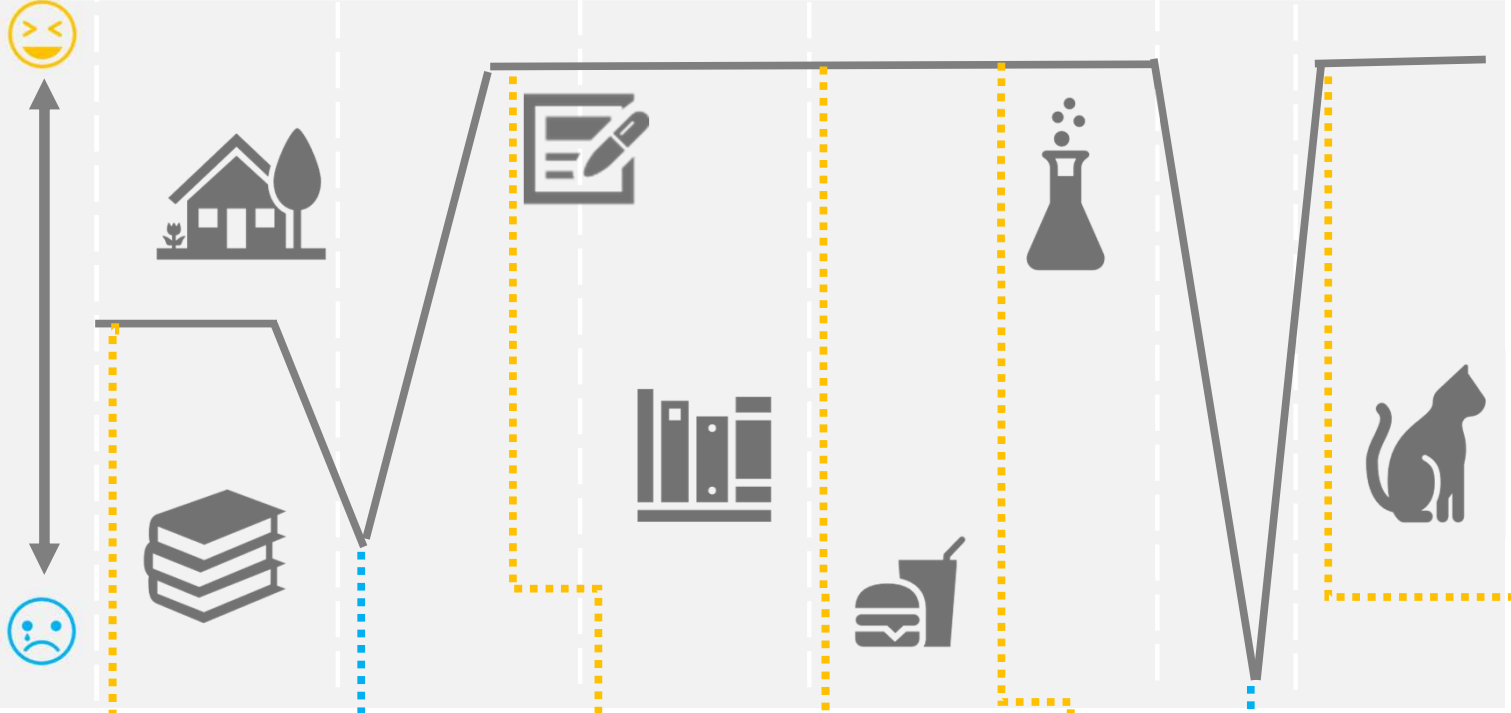
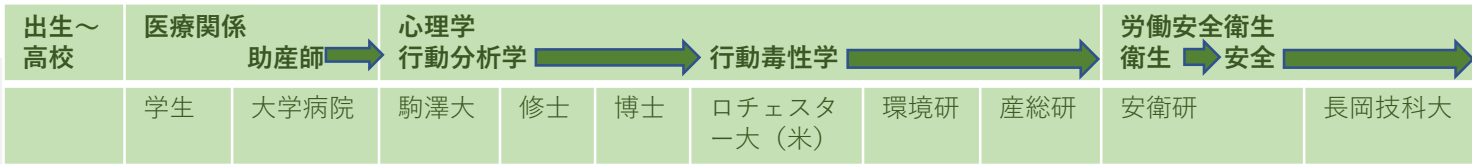
看護師、助産師を経て、大学に再入学。修士(心理学)取得。博士後期課程在学中米国ロチェスター大学で Visiting scientistとして4.5年間行動毒性学を学ぶ。帰国後に東京大学にて博士(獣医)を取得。国立環境研究所、産業技術総合研究所、労働安全衛生総合研究所に勤務後、現職。産業安全行動分析学研究室にて、働く人の目線からの安全制御システムの有効性評価、適切な作業行動のための行動分析的介入、働く人のウェルビーイング評価に関わる研究に従事。除雪、建設・土木、製造業における機械のふるまいを含むすべての作業行動を分析し、定量評価に基づく最適化の構築を目指す。日本行動分析学会会員、日本信頼性学会会員、日本安全工学会会員、日本機械学会産業・化学機械と安全部門副部門長。

## ✓北條さんの 日々のルーティン

かつては、映画鑑賞と読書が趣味のインドア派でした。労働安全の研究を始めてからは、すっかりトンネル工事現場や工場に行き行って実験を行うガテン系(アウトドア派ではない)になりました。性能のいい個人用保護具(PPE)を見つけては、ココロオドル日々を送っています。現場で働く人々はひたすらカッコいい!と思います。右のルーティーンは、私があこがれているスタイル(妄想)です。本当は、現場から現場を渡り歩く浮き草稼業です(笑)。ラブリーな猫たち三人と暮らしています。多忙ではありますが、彼らの支えで楽しく生きていける!



# ✓北條さん “私のライフチャート”



出来事

影響を受けた出来事

成功体験

失敗体験

<p>結構独特な性格だったが、両親の愛情を受けて育つ</p>	<p>一人暮らし開始。実家大好きで、帰省しても一歩も外に出ない</p>	<p>社会人入試で大学入学。カウンセリングを学ぶはずが...</p>	<p>そのころトレンドだった環境ホルモンに興味を持ち渡米</p>	<p>帰国後も研究所で動物での行動毒性実験を継続する</p>	<p>安衛研の労働衛生部門から労働安全部門に転勤する</p>
<p>育ててくれた優しいお祖母ちゃん(血縁なし)が大好きでした</p>	<p>上品できれいな看護学校の小出先生に出会い憧れる</p>	<p>学部の人に行動分析学に出会い、その理論に衝撃を受ける</p>	<p>行動分析学を応用した行動毒性学に魅了される</p>	<p>母獣から仔獣への毒性影響に助産師としての知識が役立つ</p>	<p>機械安全の体系を知り、その美しさに涙する。衝撃の出会い2!</p>
<p>勉強ができる(と勘違いしていた)。いつも本を読んでいた</p>	<p>のちに親友となるインド人サンディアと2年間ほぼ毎日会う</p>	<p>行動分析学を学べば言葉はいらないと本気で思う</p>	<p>動物実験開始。言葉がいらないのでハッピーにこなす</p>	<p>環境ホルモンが非生殖系に雌雄別々に影響することを発見した</p>	<p>猫を飼いだした。同時に動物実験が苦痛になる。やめたい!</p>
<p>社交性ゼロで、いつも一人なのに気づかなかった</p>	<p>世間話が苦手なことに気付く。話術を学ぶため大学受験決意</p>	<p>5時間を通学に費やす。読書で乗り越えを繰り返す</p>	<p>米国食が食べられず、食材を苦労して探し自炊する</p>	<p>突然環境ホルモンの影響はないと発表されてしまい、落ち込む</p>	<p>工場で使用される薬品での健康影響の研究に限界を感じる</p>

## ✓北條さんに いろいろお聞きしました!

この仕事(職業)を  
選んだきっかけは?



民間で働くのはいろいろと無理があると思っていました。研究ならば、一人でコツコツやれるし、向いているんじゃないかと思いました。でも、最初からそう思っていたわけではなく、気が付いたら研究者になっていました。

この仕事を続けていてよかったと思うところはありますか?

昔とは違い、労働安全の研究を始めから、機械安全の研究者である清水尚憲さん他数名のチームで活動しています。一人でやるよりも大きくたくさんの成果が得られているので、今の体制が最高に幸せです!

ロールモデルを教えてください!

大学・院時代の指導教官の小野浩一先生です。いつもコツコツ真摯に研究に向き合っておられました。とても尊敬しています。いまだに教えを乞うています。

ワークライフバランスについて  
教えてください!



こよなく仕事を愛するあまり、仕事一色になりがちで、バランスが取れているとはとても言えません。しかしながら、我が家に来てくれた猫ちゃんたち早く会いたいと思うようになり、少しは改善されたかもしれません。仕事と趣味が一致するのは幸せですが、気を付けないとホリックになりかねない、とおびえています。

学生時代の自分を振り返って

あー、なんだかアレな人だねー、と思います。いつも楽しそうだからそれはそれでいいのかな、と今は思っています。思い込んだら何が何でも突き進む実行力はいいけれど、周りも少し見ようよ、とアドバイスしてあげたいです。



社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします!

私はたくさんの回り道をしてきました。いまのところ、それが無駄だと思ったことはありません。むしろここにきて様々な経験が統合している感じです。

チャンスはあるだけ掴め!結果は後からついてくる!



ですです。